

出水郡医師会広域医療センター附属阿久根看護学校

# 第7回 第三者評価委員会



日時: 令和5年3月27日(月)

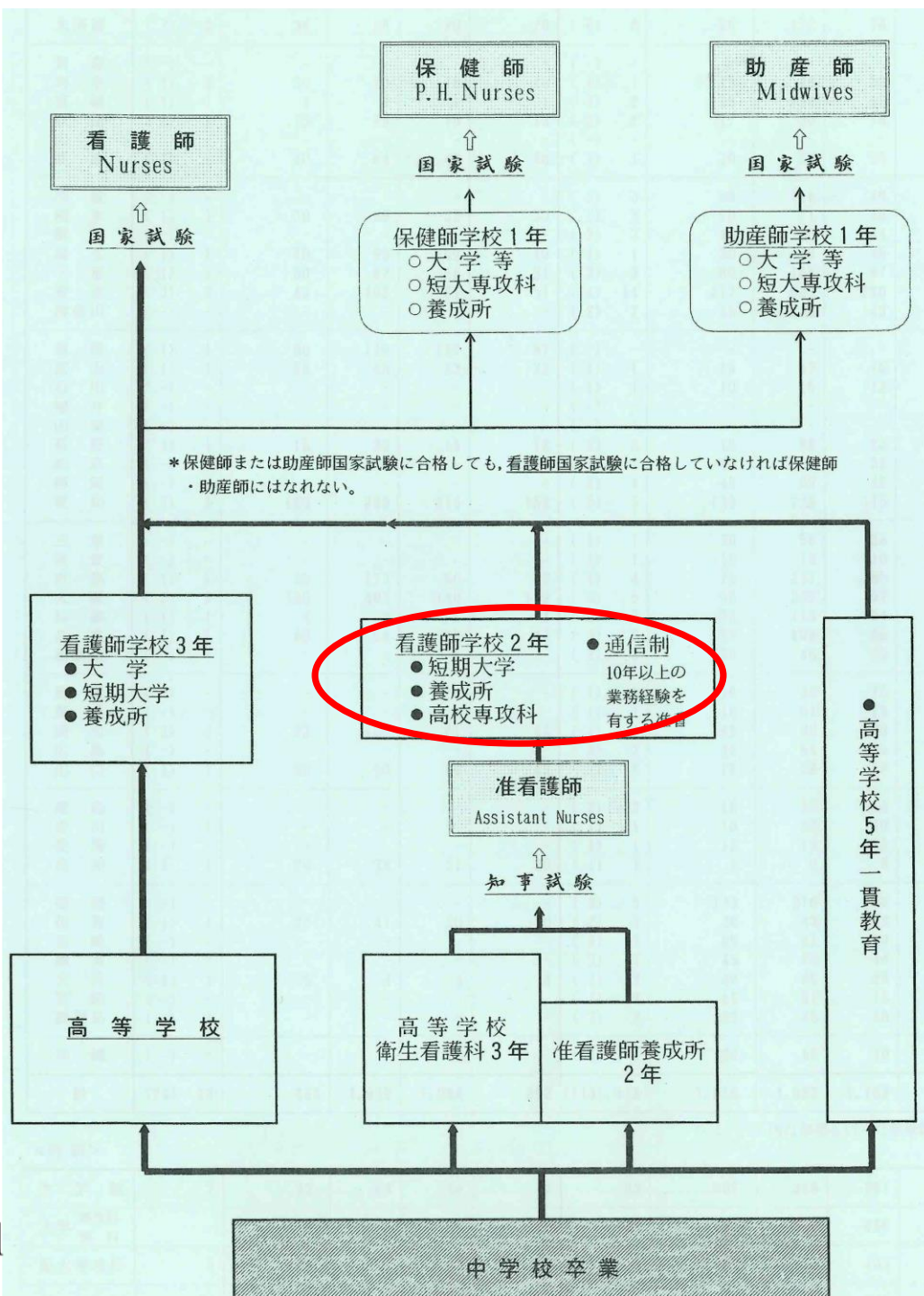
場所: 看護学校 図書室

# 第7回第三者評価委員会 内容

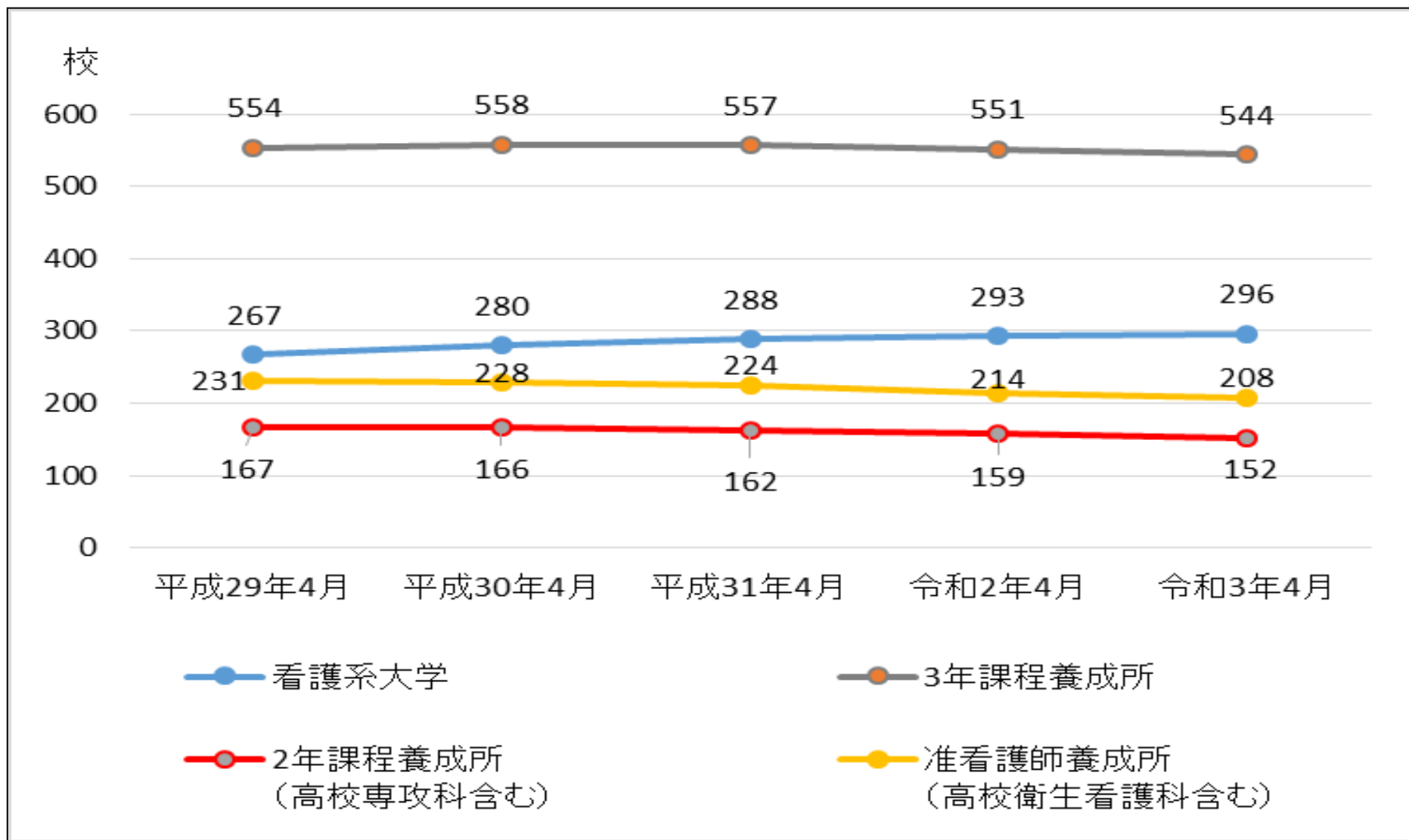
はじめに

1. 学校長挨拶
2. 学校紹介
3. 第三者評価委員会の自己紹介
4. 職員の自己紹介

# 看護関係 教育制度

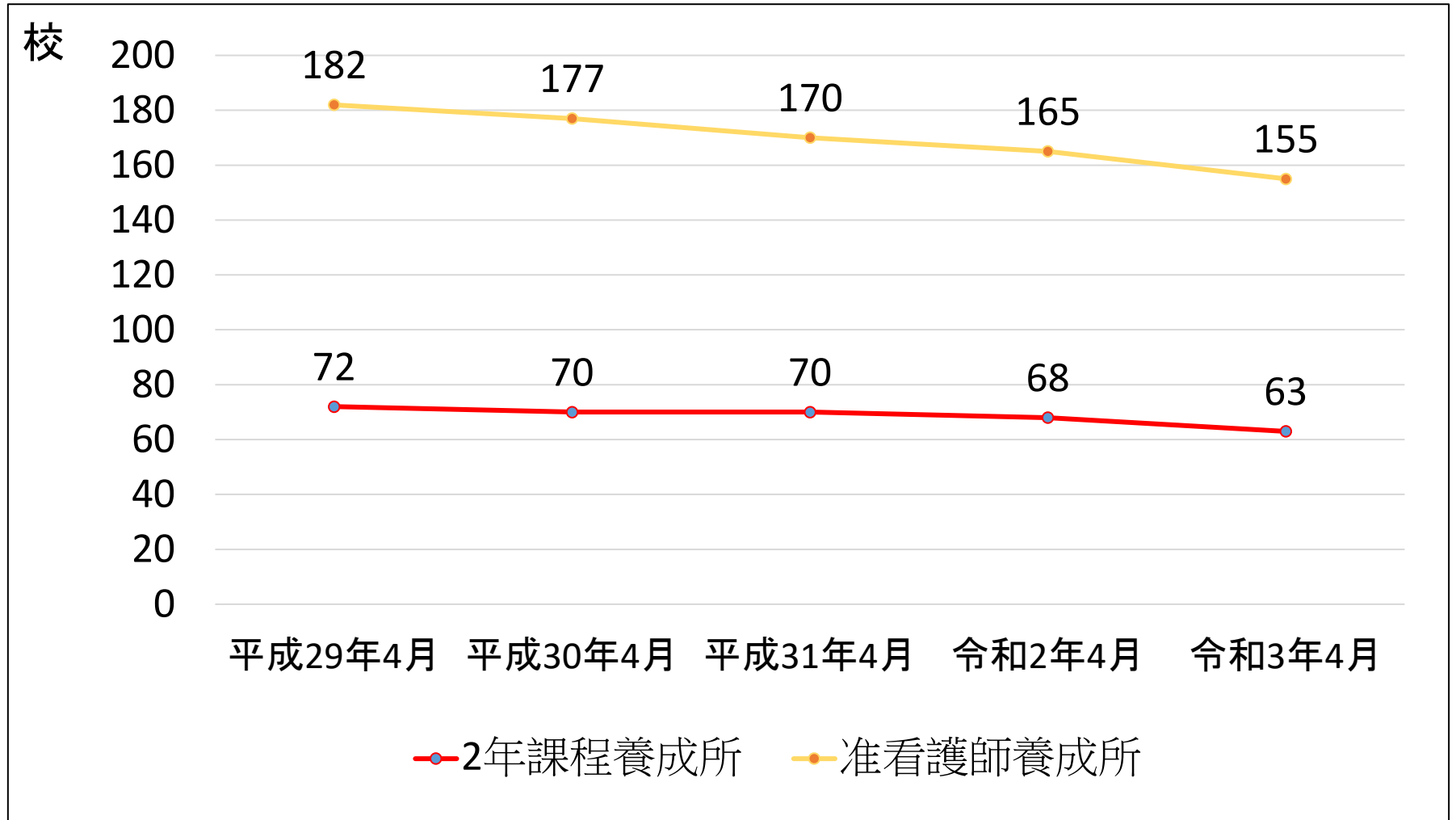


# 看護系大学、看護師・准看護師養成所数の年次推移



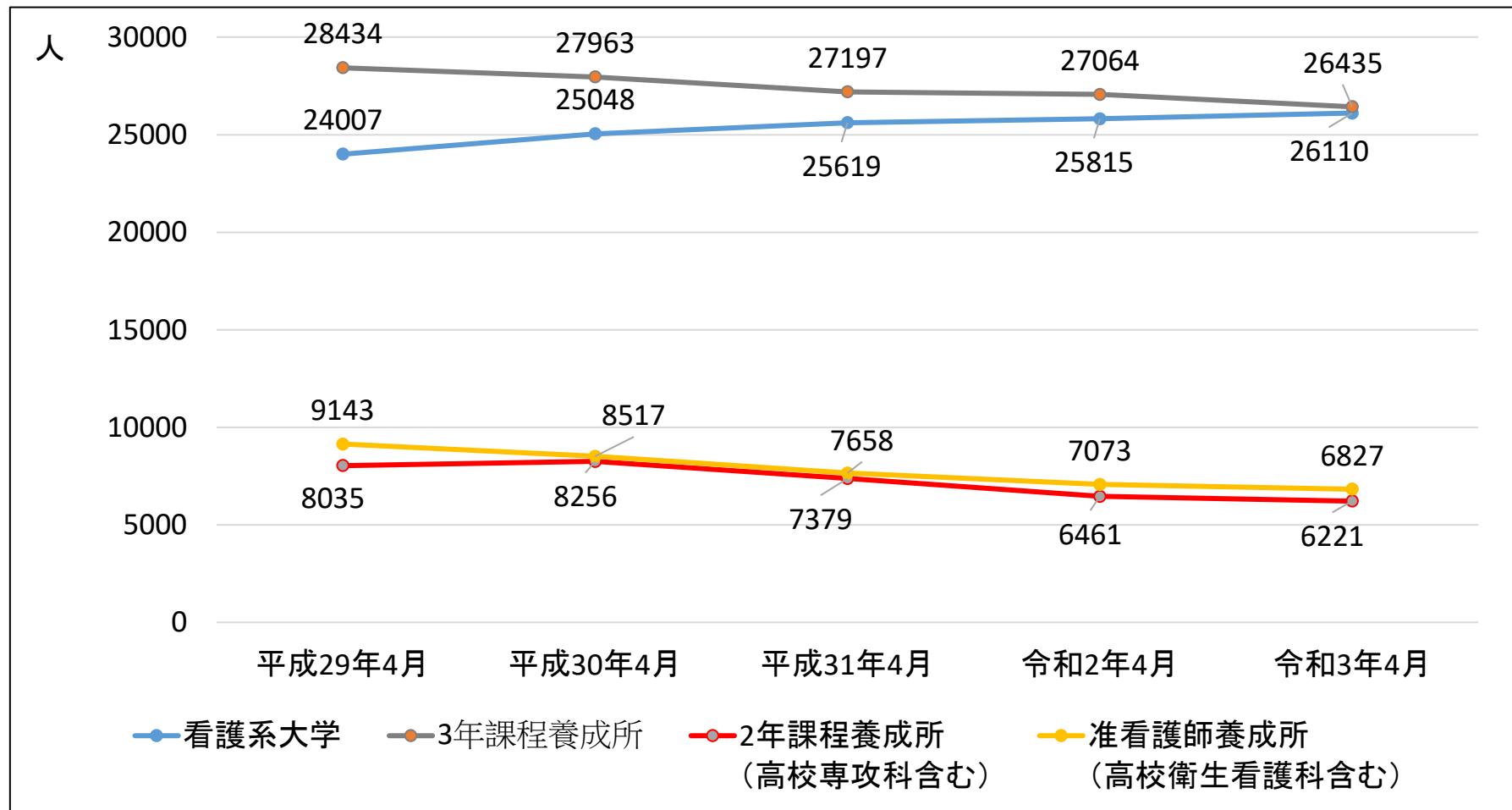
令和4年 医師会立 助産師・看護師・准看護師学校養成所調査の参考資料  
看護系大学、看護師・准看護師養成所の入学状況の推移より作成

# 全国の医師会立看護師2年課程・准看護師養成所数の年次推移



令和4年 医師会立 助産師・看護師・准看護師学校養成所調査の学校数の推移より作成

# 看護系大学、看護師・准看護師養成所の入学者数の推移



令和4年 医師会立 助産師・看護師・准看護師学校養成所調査の参考資料  
看護系大学、看護師・准看護師養成所の入学状況の推移より作成

# 鹿児島県内 2年課程養成所の設置状況 (平成28年4月現在)





## 教育理念

本校は、地域の人々の健康と生活の  
支援者として活躍できる、質の高い看護  
師の育成をめざします。





## 入学条件

1. 准看護師(中卒)で資格を得た後、3年以上

臨床経験がある人

2. 准看護師で高等学校を卒業している人

# 本校の特徴

- 昼間定時制 隔日登校である
  - 1年次 月・水・金曜日登校
  - 2年次 火・木・土曜日登校
  - 3年次 毎日（実習がある）



**仕事と勉強  
メリハリを  
つけ集中し  
て学習でき  
ます！**

- 授業は単位制、3年間で65単位修得  
（令和6年度まで）
- 卒業時は、専門士の称号を授与
- 卒業後大学への編入なども可能



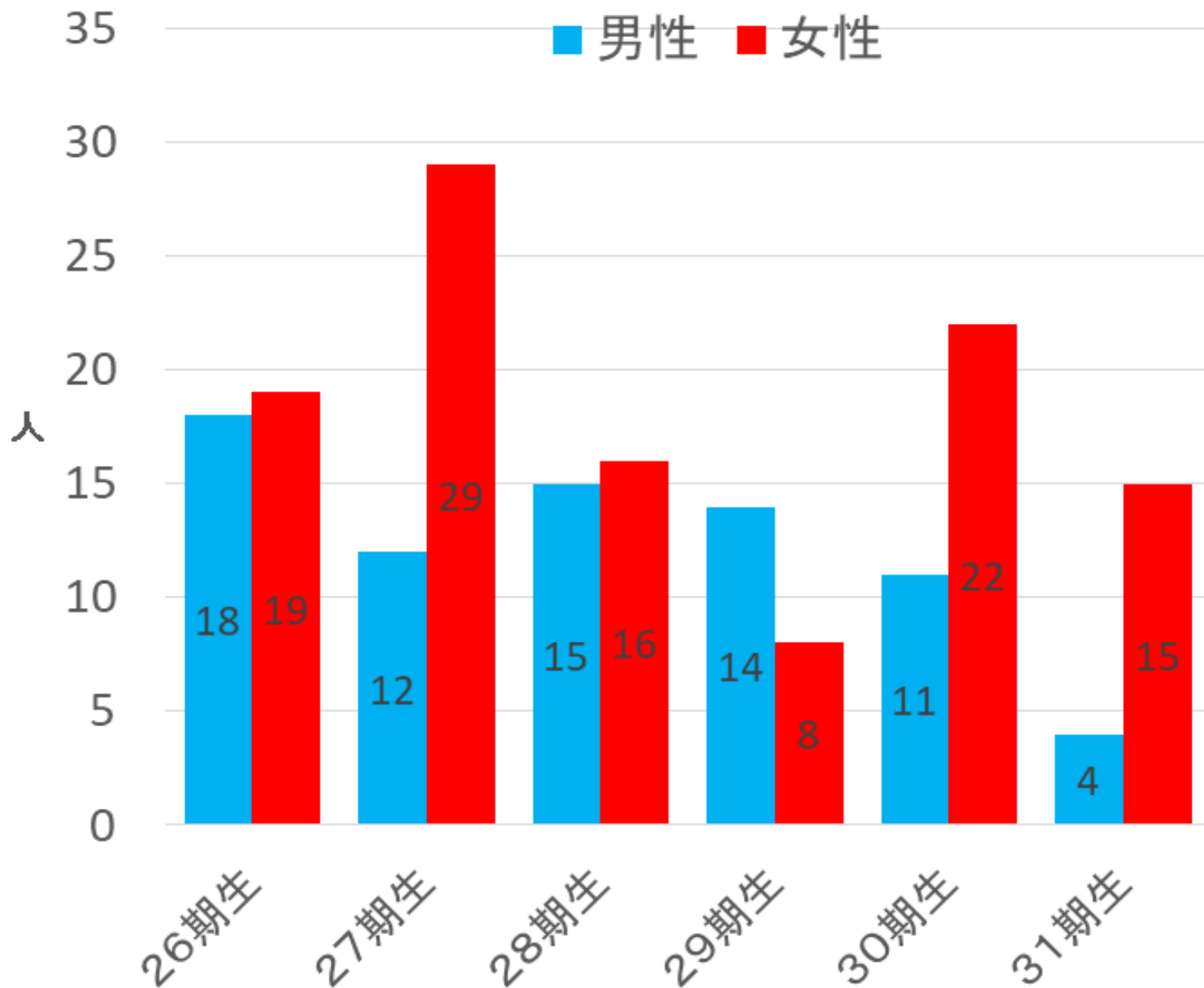


## 在籍の状況(令和5年3月現在)

学年	4月在籍	休学者	退学者
31期生 (1年生)	13名 (休学者を含む)	2名	6名
30期生 (2年生)	28名 (休学者を含む)	1名	1名
29期生 (3年生)	23名 (休学者を含む) うち1名は科目履修生	2名	0名
合 計	64名	5名	7名

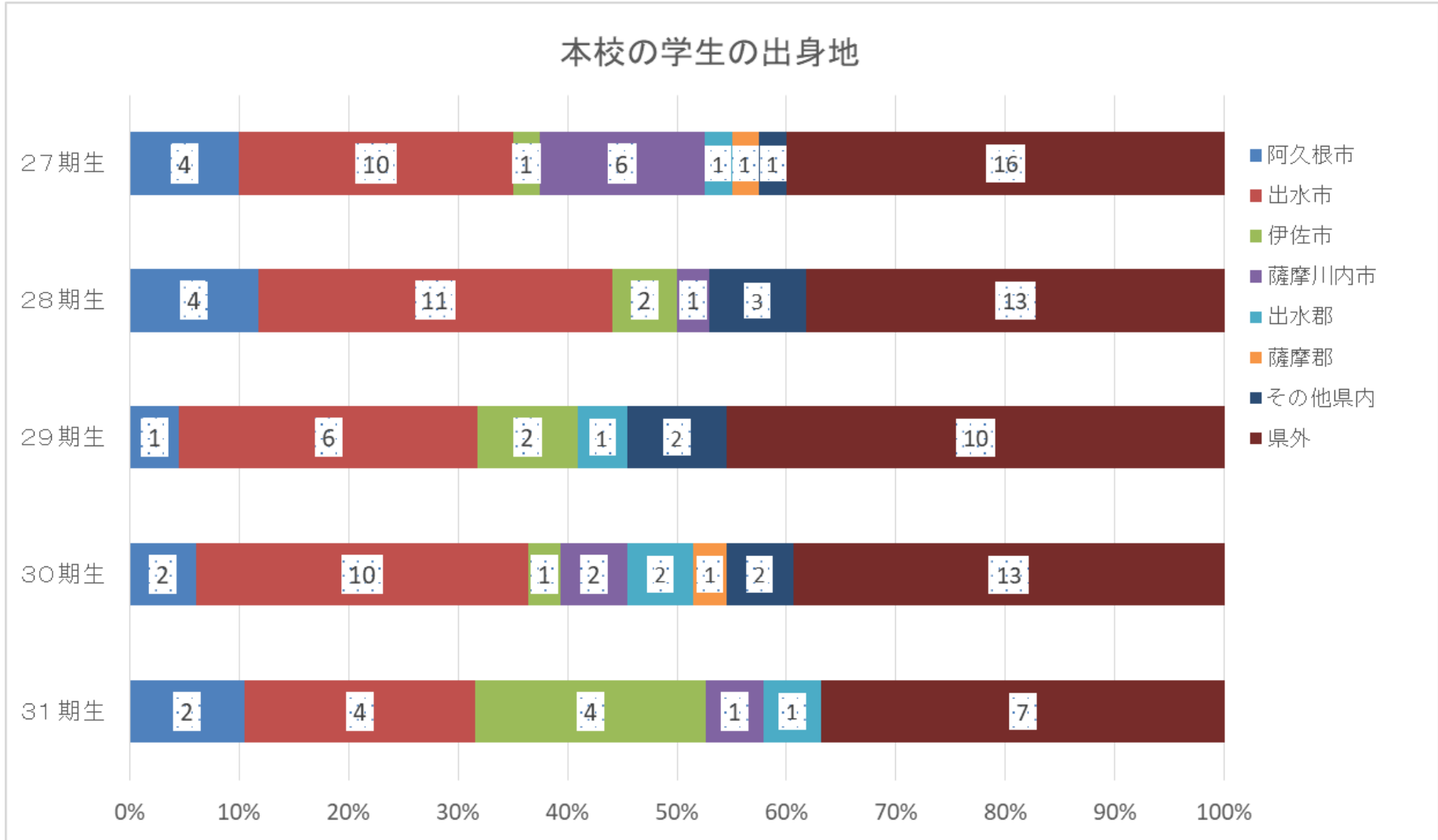
# 学年別 男女数

令和4年4月現在



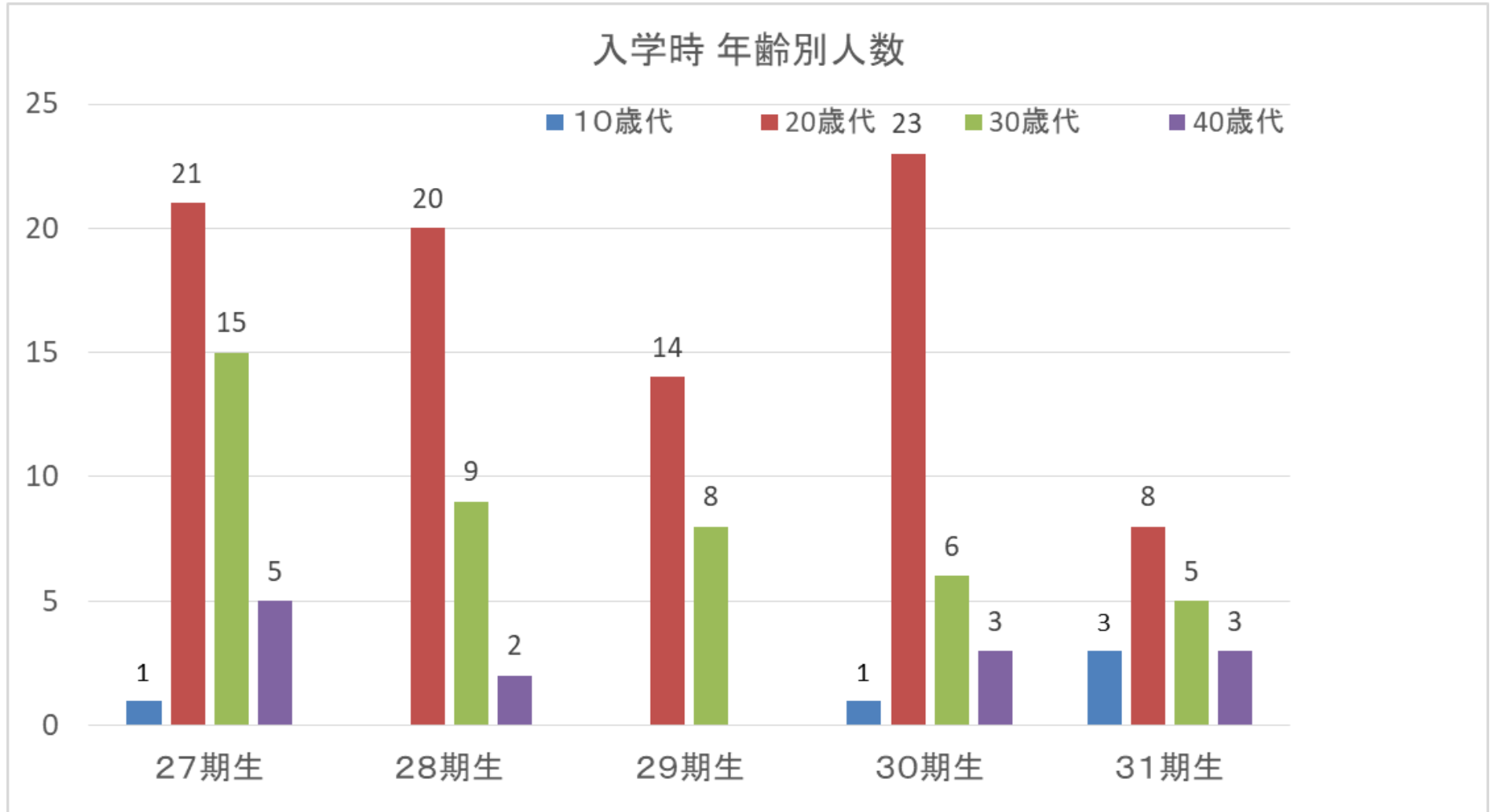
# 過去5年 期生別 新入生出身地割合

令和4年4月現在



# 過去5年 入学時年齢別人数

令和4年4月現在



# 第6回第三者評価委員会 内容

はじめに

1. 学校長挨拶
2. 学校紹介
3. 第三者評価委員の自己紹介
4. 職員の自己紹介

## <報告事項>

1. 令和1年度 第三者評価委員会からの  
課題と取組状況
2. 令和3・4年度の自己点検・自己評価結果



# 出水郡医師会広域医療センター附属阿久根看護学校における 自己評価の概要

## 1. 令和元年度～令和4年度の自己評価委員

自己評価主担当：中原和美(R1～R4年)

自己評価主担当：貴島三千代(H29・30年)

自己評価委員：職員全員

## 2. 自己点検・自己評価での用語の定義

1) 課題の解決：評価指数が「3」に達成した時点で解決したとする。

2) 課題の改善：評価指数が「1」から「2」に上昇、または「2」から「3」に上昇するなど前年度に比べ評価が上昇した時点で改善したこととする。

# 令和1年度 第6回第三者評価委員会における 学校の課題と取り組み

## 1) 卒業生の現状把握ができていない

### 【取り組み】

- ・卒業生による学校評価アンケートに加え、「看護師に求められている実践能力と卒業時の到達目標に対する評価」を加えた。

### 【取り組み結果】

- ・上記の評価で、以下の卒業生の弱点を把握できた。
  - 「健康の保持・増進・疾病予防」
  - 「急激な健康状態の変化にある対象への看護」
  - 「治療継続に向けたソーシャルサポートの理解」
  - 「国際的視点からの医療・看護の役割理解」
- ・評価結果を令和5年度からの新カリキュラムに反映させる。

# 令和1年度 第6回第三者評価委員会における 学校の課題と取り組み

## 2) 学生募集の工夫を試みて学生数を確保する

### 【取り組み】

- ・以下の内容を学校訪問やオープンキャンパスで説明  
看護師へのキャリア形成  
卒業生の声

### 【取り組み結果】

- ・准看護師養成所の減少と入学者の減少、進学希望者の減少で学生募集の成果は出ていない。

# 令和1年度 第6回第三者評価委員会における 学校の課題と取り組み

## 3) 地域福祉の観点から人的資源の活用を行う

### 【取り組み】

- ・阿久根市社会福祉協議会のご協力で、地域交流会やボランティア活動に参加させていただいている。

### 【取り組み結果】

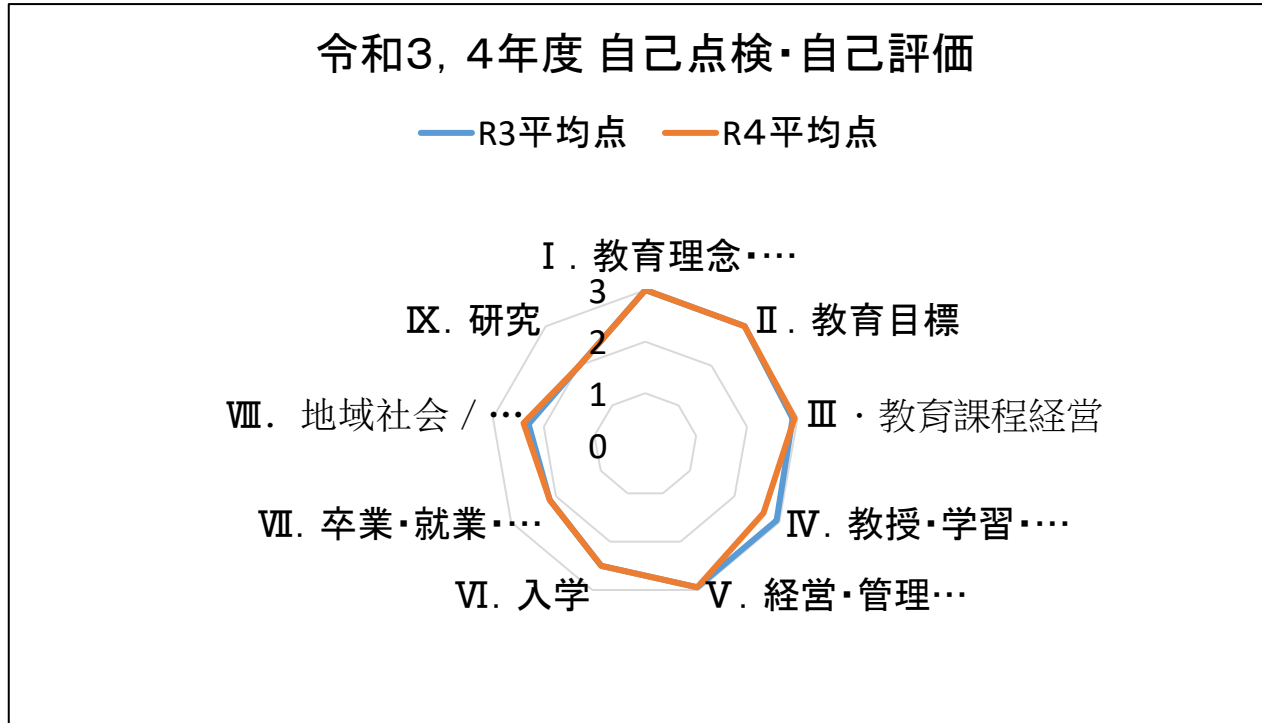
- ・地域活動に参加した学生は地域住民と触れ合いながら、地域福祉活動への関心を高めている。



# 令和3・4年度の自己点検・自己評価の 取り組みと結果について

(令和4年度 自己点検・自己評価結果より)

# 自己点検・自己評価結果の前年度比較

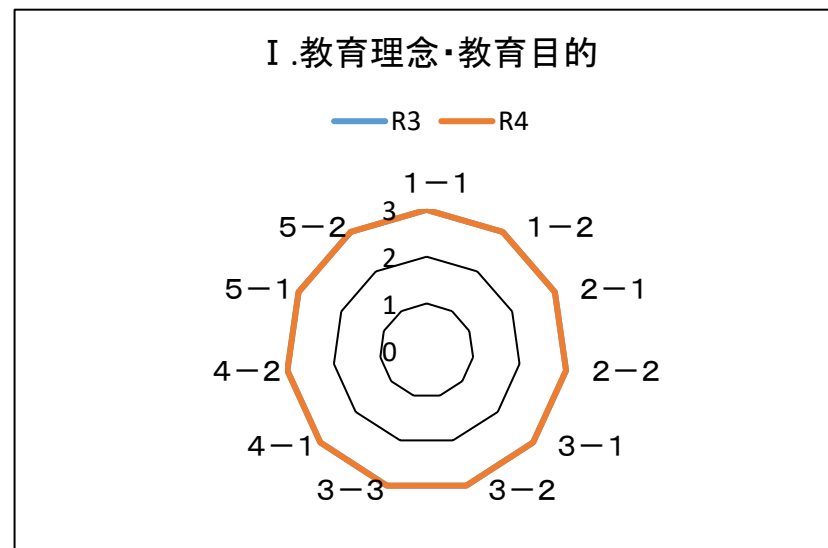


・「IV. 教授・学習・評価過程」以外の項目の評価点は、維持あるいは改善されている。

・「IV. 教授・学習・評価過程」の評価点が低下している。詳細は後述する。

# I . 教育理念・教育目的

		R3	R4
I	教育理念・教育目的	評価点	評価点
1-1	教育理念・教育目的は、自養成所の上の特徴を示している。	3	3
1-2	教育理念・教育目的は法との整合性がある。	3	3
2-1	教育理念・教育目的は、学生にとって学習の指針になるように具体的に示している。	3	3
2-2	教育理念・教育目的は実際に学生の学習の指針になっている。	3	3
3-1	教育理念・教育目的は、養成する看護師等の質を保障するために、どのような教育内容を設定しているかを述べている。	3	3
3-2	教育理念・教育目的は、養成する看護師等の質を保障するために、どのような教育方法をとるかを述べている。	3	3
3-3	教育理念・教育目的は、養成する看護師等の質を保障するために、どのような教育環境をとるかを述べている。	3	3
4-1	教育理念・教育目的は、看護、看護学教育、学生観について明示している。	3	3
4-2	看護、看護学教育、学生観は実際に教師の教育活動の指針となっている。	3	3
5-1	教育理念・教育目的は、養成する看護師等が卒業時点においてもつべき資質を明示している。	3	3
5-2	卒業時点にもつべき資質は、社会に対する看護の質を保障するのに妥当なものとなっている。	3	3



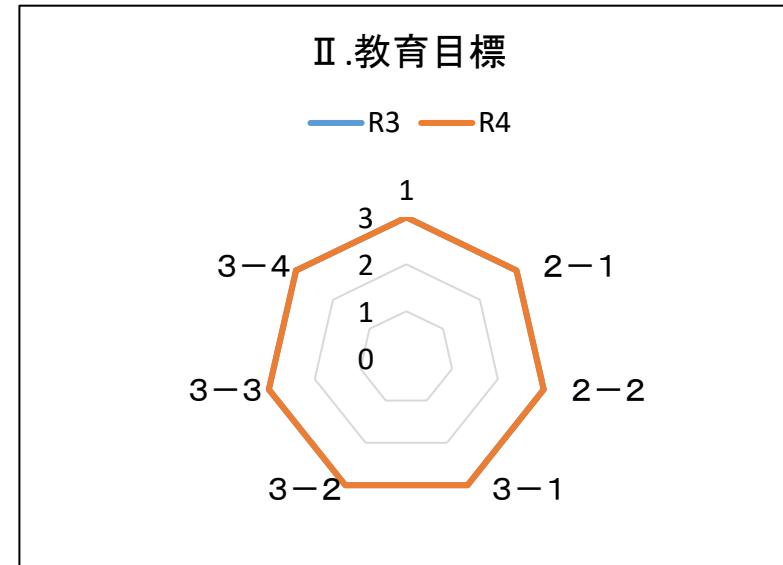
評価基準 :よく当てはまる:3 大体当てはまる:2 当てはまらない:1

## 【取り組みと課題】

- ・学生便覧や履修要覧、ネームに明示する他、教室にも掲示
- ・入学時の宿泊研修でシンボルマーク作成
- ・ホームルームの運営や学校賞(心賞・知賞・体賞)の表彰式

# Ⅱ. 教育目標

Ⅱ	教育目標	評価点	評価点
1	教育目標は、教育理念・教育目的と一貫性がある。	3	3
2-1	教育目標は、設定した教育内容を網羅している。	3	3
2-2	教育目標は、最上位の目標として、教育活動のゴールが読みとれるものとなっている。	3	3
3-1	教育目標は、目標内容と到達レベルが対応している。	3	3
3-2	教育目標は、具体的で実現可能なものとなっている。	3	3
3-3	看護実践者としての能力を育成する側面と、学習者としての成長を促すための側面から教育目標を設定している。	3	3
3-4	卒業後の継続教育の考え方を示した上で、教育目標を設定している。	3	3



評価基準 :よく当てはまる:3 大体当てはまる:2 当てはまらない:1

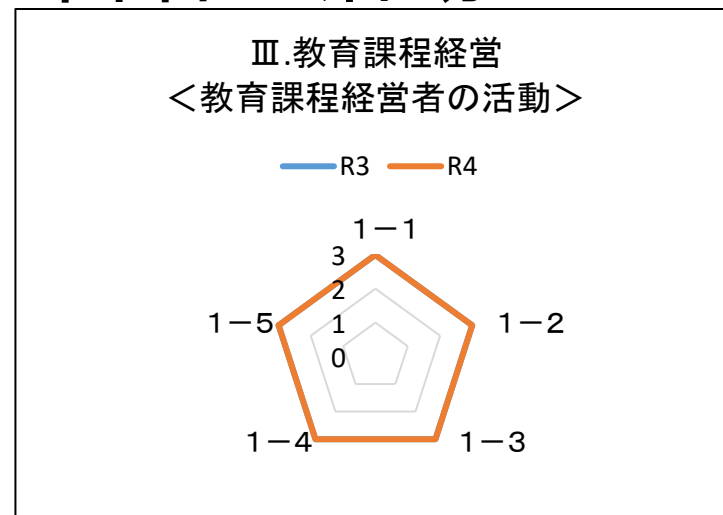
## 【取り組みと課題】

- ・学生便覧や履修要覧、ネームに明示する他、教室にも掲示
- ・教育目標を達成するために、各学年目標も立案し、学生に周知
- ・令和5年度からの新カリキュラムに向けて、卒業時の到達目標、DP、目指す看護師像をもとにカリキュラムツリーで科目の関連性を確認している。



# Ⅲ. 教育課程経営—教育経営者の活動

Ⅲ	教育課程経営<教育課程経営者の活動>	R3	R4
1-1	教育課程編成者と教職員全体は、教育課程と授業実践、教育評価との関連性を明確に理解している。	3	3
1-2	教育課程編成者と教職員全体は、教育理念・教育目的の達成に向けて一貫した活動を行っている。	3	3
1-3	看護学の内容について明確な考え方と根拠をもって教育課程を編成している。	3	3
1-4	学修の到達について明確な考え方と根拠をもって教育課程を編成している。	3	3
1-5	学生の成長について明確な考え方と根拠をもって教育課程を編成している。	3	3



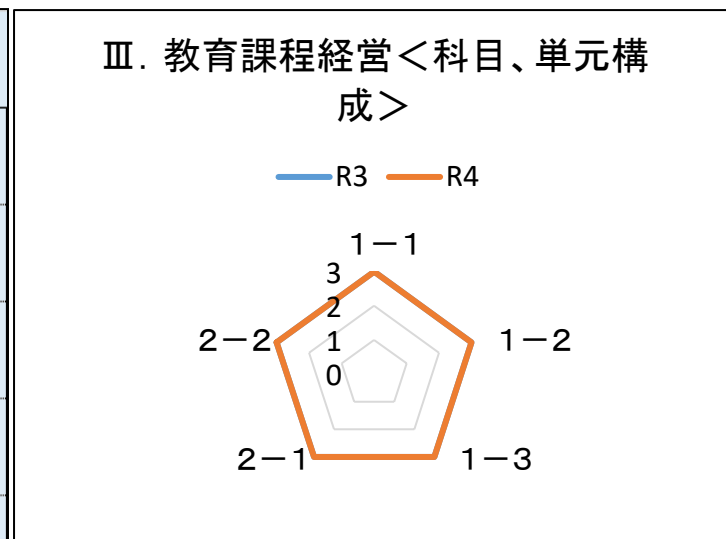
評価基準 :よく当てはまる:3 大体当てはまる:2 当てはまらない:1

## 【取り組み】

- ・教育理念・目的・目標からおりた科目の考え方を明記
- ・カリキュラムデザインにも看護学の考え方が記載
- ・教育課程の評価では、各科目の評価と「卒業時の到達目標」「学生による授業アンケート」「就職先の管理者からの聴き取り」を実施
- ・現行カリキュラムの評価をもとに新カリキュラムに向けて、教育課程を編成し運用を検討した

# Ⅲ. 教育課程経営一科目、単元構成

	教育課程経営<科目、単元構成>	R3	R4
1-1	明確な考え方と根拠をもって科目を構成している。	3	3
1-2	明確な考え方と根拠をもって単元を構成している。	3	3
1-3	科目と単元の構成の考え方は教育理念・目的、教育目標と整合性がある。	3	3
2-1	構成した科目は看護師等を養成するのに妥当である	3	3
2-2	構成した科目は養成所の特徴をあらわしている。	3	3



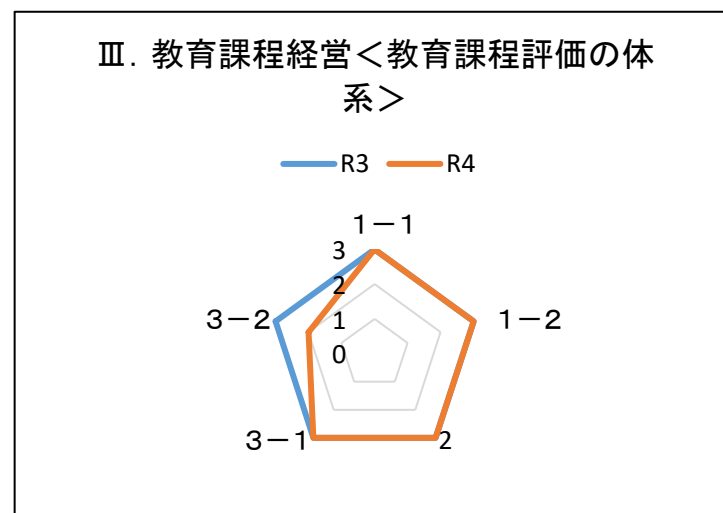
評価基準 :よく当てはまる:3 大体当てはまる:2 当てはまらない:1

## 【取り組みと課題】

- ・科目と単元の構成の考え方は、教育理念・教育目的・教育目標との整合性を持たせた。

# Ⅲ. 教育課程経営－教育課程評価体系

教育課程経営<教育課程評価の体系>		R3	R4
1-1	単位認定の基準は看護師等に必要な学修を認めるものとして妥当である。	3	3
1-2	単位認定の方法は看護師等に必要な学修を認めるものとして妥当である。	3	3
2	他の高等教育機関と単位互換が可能な体制を整えている。	3	3
3-1	教育課程を評価する体系を整えている。	3	3
3-2	評価結果の活用における倫理規定を明確にしている。	3	2



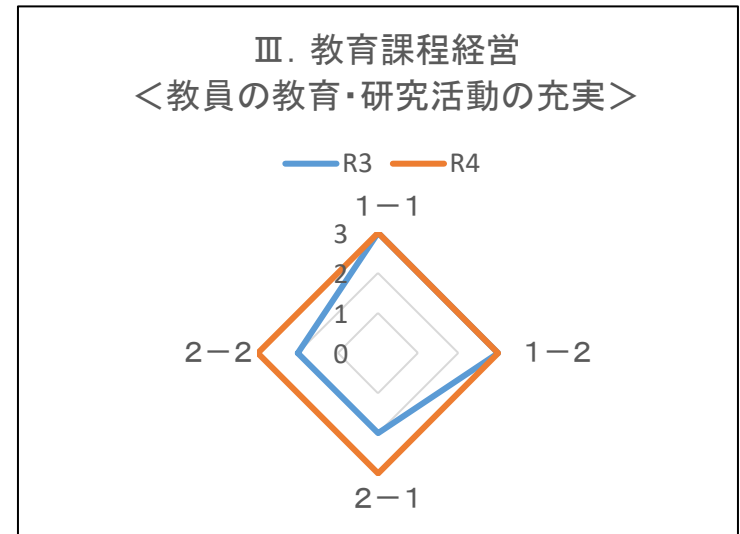
評価基準 :よく当てはまる:3 大体当てはまる:2 当てはまらない:1

## 【取り組みと課題】

- ・授業アンケートと卒業時の到達目標、卒業生による学校評価アンケート、就職先の管理者からの聴き取りを実施。
- ・学生による授業アンケート結果が自己点検・自己評価に反映されることを学生たちに意識させる。また、学生が不利益を被ることがないように規定に明文化する。

# Ⅲ. 教育課程経営－教育・研究活動の充実

教育課程経営＜教員の教育・研究活動の充実＞		R3	R4
1-1	教員が専門性を発揮できるように、教員の担当科目と時間数を配分している。	3	3
1-2	教員が授業準備のための時間をとれる体制を整えている。	3	3
2-1	教育課程の実践者である教員が自ら成長できるよう、自己研鑽のシステムを整えている。	2	3
2-2	教員が相互に成長できるよう、相互研鑽のシステムを整えている。	2	3



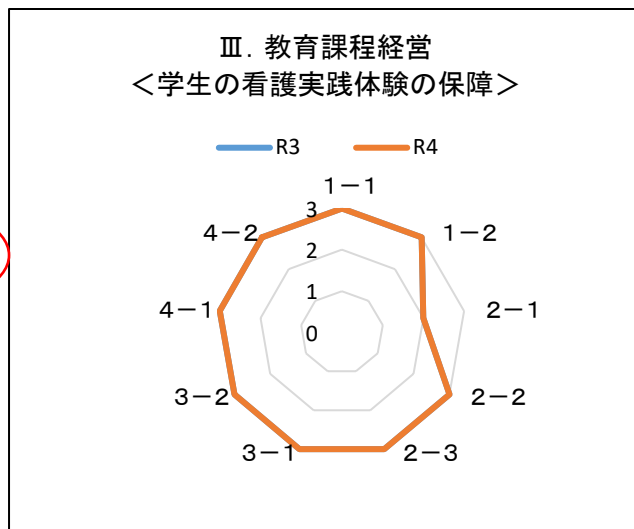
評価基準 :よく当てはまる:3 大体当てはまる:2 当てはまらない:1

## 【取り組みと課題】

- ・専門に応じた講義配分。
- ・教材研究時間確保は業務整理の上確保している。
- ・外部研修についてはリモートやeラーニングを活用。研修費用も確保できている。
- ・教員間での相互研鑽の場である研究授業は実施しつつあるが、R4年度は2例であったため全教員が出来るようにする。

# Ⅲ. 教育課程経営－看護実践体験の保障

	教育課程経営<学生の看護実践体験の保障>	R3	R4
1-1	臨地実習施設は、養成所の個別の教育理念・教育目的、教育目標を理解している。	3	3
1-2	臨地実習施設は学生の看護実践の学習を支援する体制を整えている。	3	3
2-1	臨地実習指導における学生の学びを保障するために、臨地実習指導者の役割を明確にしている。	2	2
2-2	臨地実習指導における学生の学びを保障するために、教員の役割を明確にしている。	3	3
2-3	臨地実習指導者と教員の協働体制を整えている。	3	3
3-1	学生からケアを受ける対象者の権利を尊重するための考え方を明示している。	3	3
3-2	対象者の権利を尊重する考え方に基づいて、学生への指導を計画的に行っている。	3	3
4-1	臨地実習において学生が関係する事故を把握、分析している。	3	3
4-2	学生に対する安全教育、安全対策を計画的に行っている。	3	3



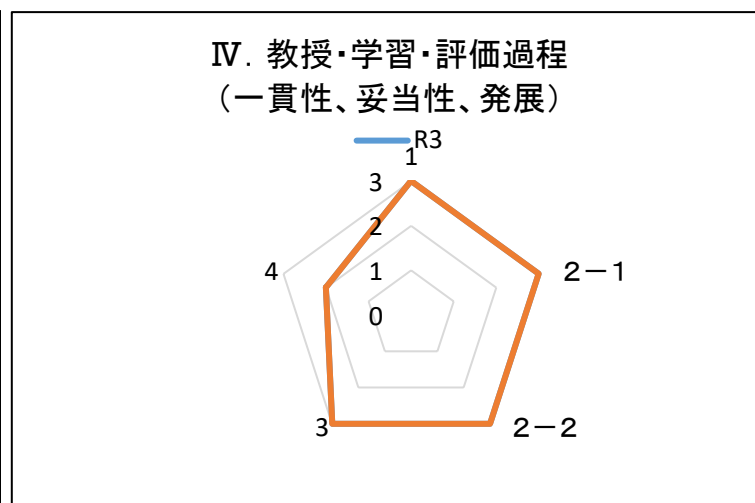
評価基準 :よく当てはまる:3 大体当てはまる:2 当てはまらない:1

## 【取り組みと課題】

- ・実習施設へは教育目的や教育目標は実習要項を用いて説明。
- ・「臨地実習指導者の役割」「教員の役割」は実習打ち合わせ時に依頼しているが、学生の学びを保障するためにもそれぞれの役割について明確にすることが課題。

# IV. 教授・学習・評価過程——一貫性、妥当性、発展

IV	<授業内容と教育過程との一貫性><看護学としての妥当性><授業内容間の関連と発展>	R3	R4
1	授業の内容は、教育課程との関係において、当該学生のための授業内容として設定されている。	3	3
2-1	授業内容のまとまりの考え方を明確に述べている。	3	3
2-2	授業内容のまとまりの考え方は、科目目標との整合性をもっている。	3	3
3	授業内容のまとまりは、看護学の教育内容として妥当性がある。	3	3
4	授業内容間の重複や整合性、発展性等が明確になっている。	2	2



評価基準 :よく当てはまる:3 大体当てはまる:2 当てはまらない:1

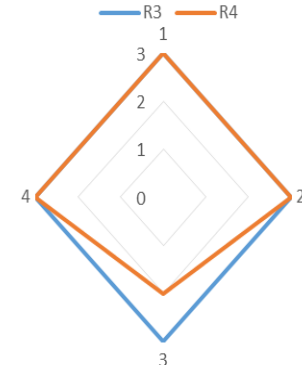
## 【取り組みと課題】

- ・授業内容や科目目標は、教育課程をもとにした履修要覧や具体的な指導計画を立案し学生に伝えている。
- ・項目2-4にある「発展性」について、構想はあるものの、具体的に示していない。教育目的・目標に近づけるために、1年次から3年次までに何をどう発展させていくのかを教員間で検討し、明確にすることが課題である。

# IV. 教授・学習・評価過程－授業展開過程

<授業の展開過程>	R3	R4
1 授業形態(講義、演習、実験、実習)は、授業内容に応じて選択している。	3	3
2 授業展開に用いる指導技術についての考え方を授業計画等に明示し、実践している。	3	3
3 授業の展開過程の他に、学生の学習が深化、発展するための方法を意図的に選択し、学習を支援している。	3	2
4 学生に対し効果的な教育・指導を行うために、教員間の協力体制を明確にしている。	3	3

IV. 教授・学習・評価過程  
<授業展開過程>



評価基準 :よく当てはまる:3 大体当てはまる:2 当てはまらない:1

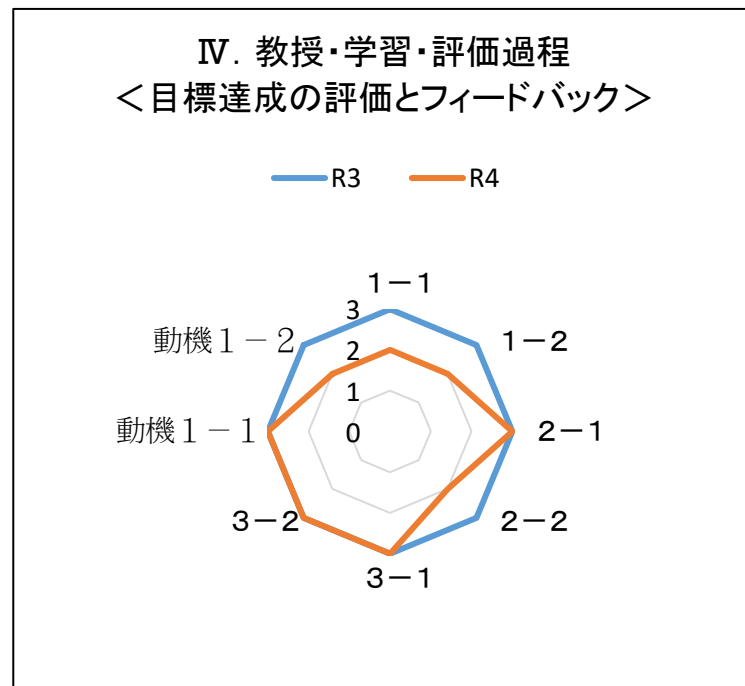
## 【取り組みと課題】

- ・履修要覧を授業開始時に明示し評価について説明。
- ・学生の学習深化や発展については、教育方法にシミュレーション教育を取り入れつつある。
- ・教員間の協力体制はできているが、学生の学習への動機づけと支援の方法として、シミュレーション教育などでの教員間の協力体制を新たに構築していく。

# IV. 教授・学習・評価過程-評価・フィードバック、動機づけ

＜目標達成の評価とフィードバック＞＜学習への動機づけと支援＞		R3	R4
1-1	評価計画を立案し、実施している。	3	2
1-2	評価結果に基づいて、実際に授業を改善している。	3	2
2-1	学生および教育活動を多面的に評価するために、多様な評価の方法を取り入れている。	3	3
2-2	教育目標の達成状況を多面的に把握している。	3	2
3-1	学生に単位認定のための評価基準と方法を公表している。	3	3
3-2	単位認定の評価には公平性が保たれている。	3	3
1-1	シラバスの提示や学習への指導は、養成所全体としての一貫性がある。	3	3
1-2	シラバスの提示や学習への指導は、学生の学習への動機づけと支援になっている。	3	2

評価基準 :よく当てはまる:3 大体当てはまる:2 当てはまらない:1



## 【取り組みと課題】

・教育活動の評価として以下を実施。

- ①授業と実習の終了時に学生の他者評価、②学生の技術到達度の自己評価
- ③卒業前の「卒業時に到達すべき目標」の学生による自己評価

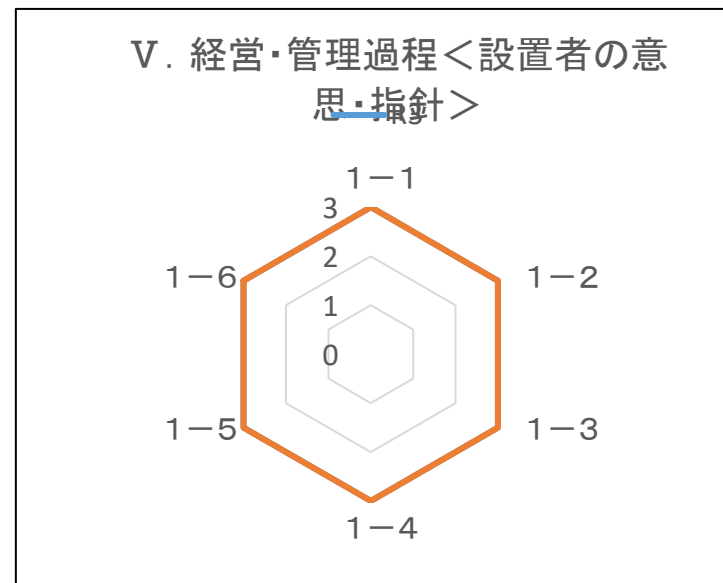
・授業や実習終了時の他者評価は科目の総括評価になっているため、今後は形成評価も取り入れることが必要。

・各科目の評価が教育目標の達成に繋がっているかの検証と授業改善が課題。



## V. 経営・管理過程—設置者の意思・指針

V. 経営・管理過程<設置者の意思・指針>		R3	R4
1-1	養成所の管理者は教育理念・教育目的についての考え方を明示している。	3	3
1-2	養成所の管理者は教育課程経営についての考え方を明示している。	3	3
1-3	養成所の管理者は教育評価についての考え方を明示している。	3	3
1-4	養成所の管理者は養成所の管理運営等についての考え方を明示している。	3	3
1-5	明示した管理者の考えと、設置者の意思とは一貫性がある。	3	3
1-6	教職員は養成所の設置者と管理者の考え方を理解している。	3	3



評価基準 :よく当てはまる:3 大体当てはまる:2 当てはまらない:1

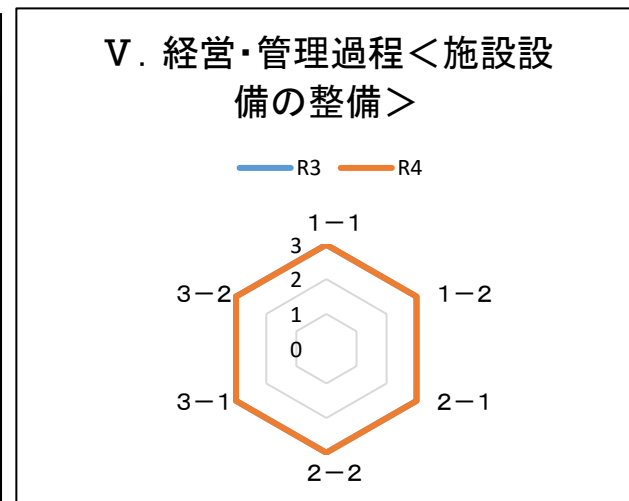
### 【取り組み】

- ・中長期計画は毎年評価を行い、翌年に必要な資源を明示している。
- ・1-3の教育評価についての考え方については課題である。

逆向き設計の考え方による授業展開やシミュレーション教育の導入を基盤としたパフォーマンス評価を検討している。

# V. 経営・管理過程—施設設備の整備

V. 経営・管理過程<施設設備の整備>		R3	R4
1-1	学習・教育環境の整備について、管理者の考え方を明示している。	3	3
1-2	管理者の考え方に基づいて整備計画を立案し、実施している。	3	3
2-1	看護の専門職教育に必要な施設設備を計画的に整備している。	3	3
2-2	医療・看護の発展や学生層の変化に合わせて、施設設備を整備・改善している。	3	3
3-1	養成所が設置されている地域環境との関連から学生および教職員にとっての福利厚生施設の整備を検討している。	3	3
3-2	学生が学生生活を円滑に送り、教職員が職務を円滑に遂行できるように施設設備を整備している。	3	3



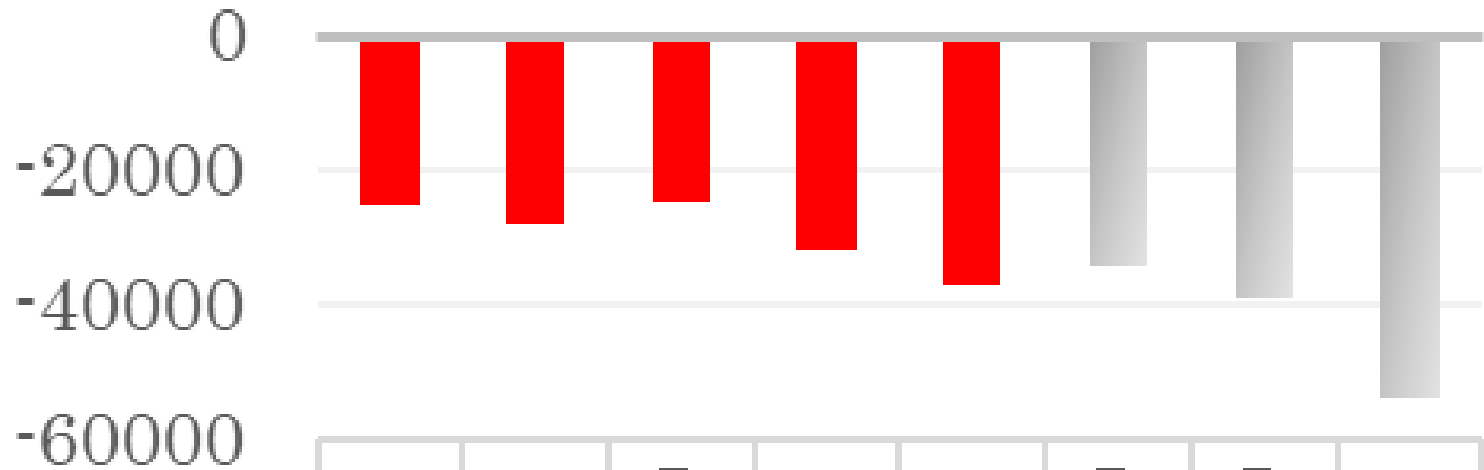
評価基準 :よく当てはまる:3 大体当てはまる:2 当てはまらない:1

## 【取り組みと課題】

- ・カリキュラム改正を見据え、教材設備の購入・更新を行った。  
特に、ICT活用のために、Wi-Fiを設置し、teamsやZOOMなどリアルタイムかつ双方向のコミュニケーションが取れる学習環境を整備した。また、学内実習のための配信映像の導入、万能型看護実習モデルの購入を行った。
- ・中長期計画で設備投資を計画しているが、入学者減少で経営上はマイナス計上。

# 經常增減額

単位：千円



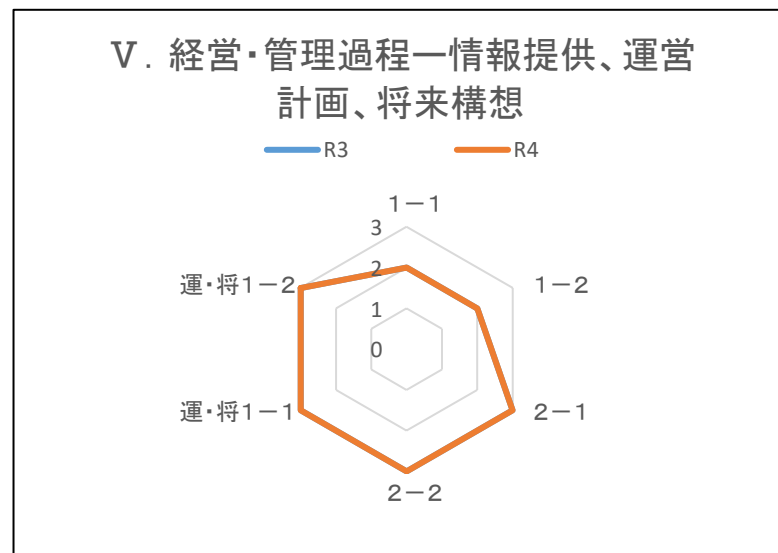
■ 經常増減額

	H 29	H 30	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
經常増減額	-250	-278	-246	-317	-370	-341	-389	-537

## V. 経営・管理過程—情報提供、運営計画、将来構想

<養成所に関する情報提供><養成所の運営計画と将来構想>		R3	R4
1-1	教育・学習活動に関する情報提供を関係者(保護者等)に行っている。	2	2
1-2	関係者(保護者等)への情報提供は関係者から協力・支援を得ることにつながっている。	2	2
2-1	看護師等を養成する機関としての存在を、十分にアピールする広報活動を適切に行なっている。	3	3
2-2	広報の内容は、社会的説明責任を果たすものになっている。	3	3
運・将1-1	養成所は明確な将来構想のもとに、運営の中・長期計画、短期計画、年間計画を立案している。	3	3
運・将1-2	その実施・評価は将来構想との整合性をもってしている。	3	3

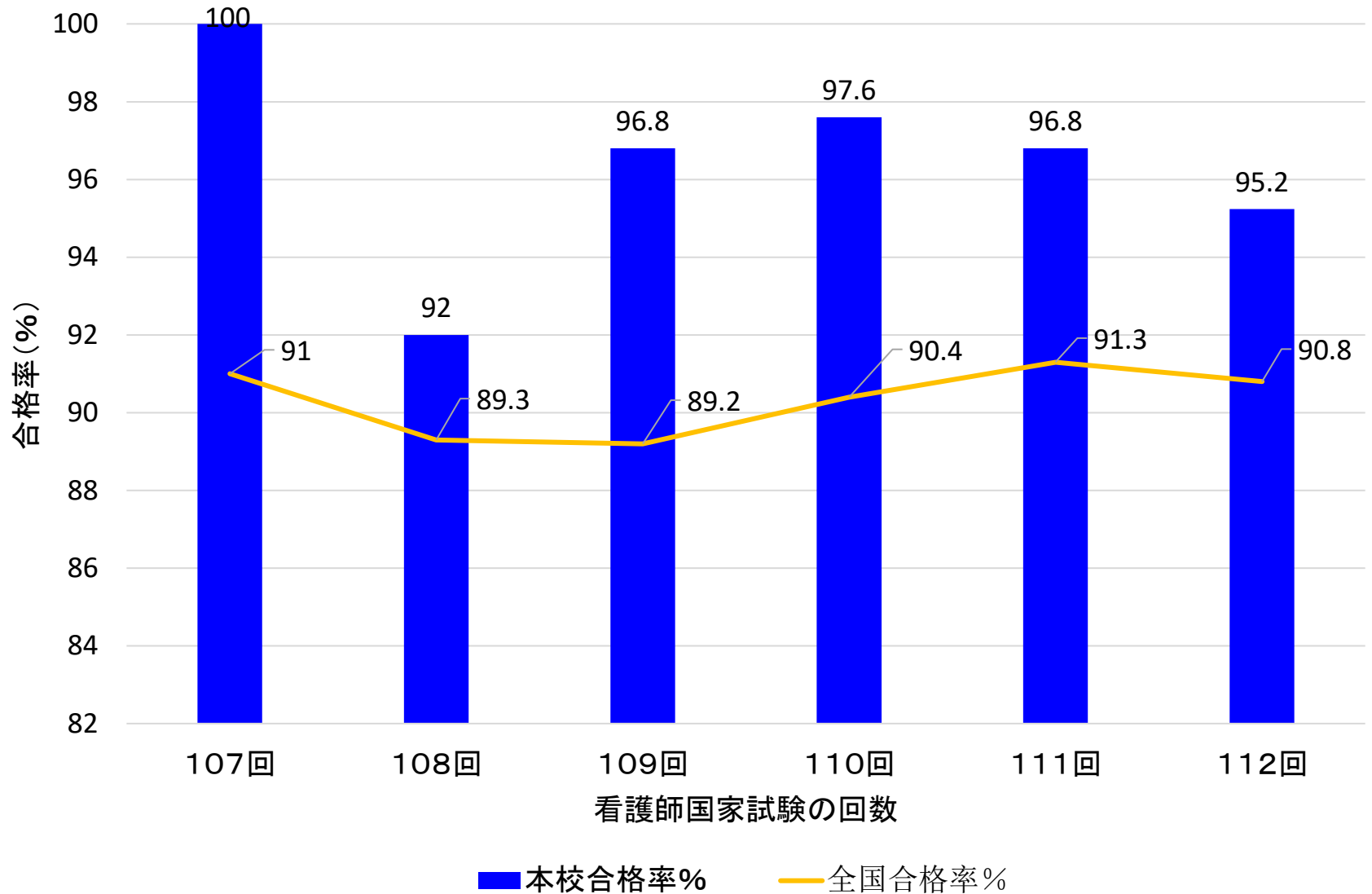
評価基準 :よく当てはまる:3 大体当てはまる:2 当てはまらない:1



### 【取り組みと課題】

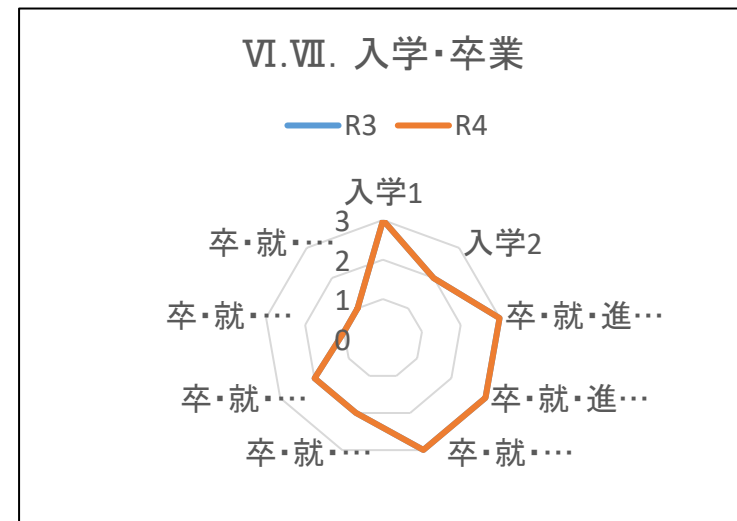
- ・情報提供として、成績表を年に2回保護者に発送
- ・単位習得に関わる学生情報は保護者・委託病院へ提供
- ・学習活動はインスタグラムで公開

# 看護師国家試験結果 (第107～第112回合格状況の推移)



# VI. VII. 入学、卒業、就業

VI	入学	R3	R4
入学1	教育理念・教育目的との一貫性をもって入学者選抜についての考え方を述べている。	3	3
入学2	入学者状況、入学者の推移について、入学者選抜方法の妥当性及び教育効果の視点から分析し、検証している。	2	2
VII	卒業・就業・進学		
卒・就・進2	卒業時の到達状況を分析している。	3	3
卒・就・進2	卒業生の就業・進学状況を分析している。	3	3
卒・就・進2	卒業生の到達状況、就業・進学状況についての分析結果は、教育理念・教育目標との整合性がある。	3	3
卒・就・進3	卒業生の就業先での評価を把握し、問題を明確にしている。	2	2
卒・就・進3	卒業生の就業先との情報交換や調査の実施等ができる体制を整えている。	2	2
卒・就・進4	卒業生の活動状況を把握し、統計的に整理している。	1	1
卒・就・進4	卒業生の活動状況の分析結果を、教育理念・教育目的、教育目標、授業の展開に活用している。	1	1

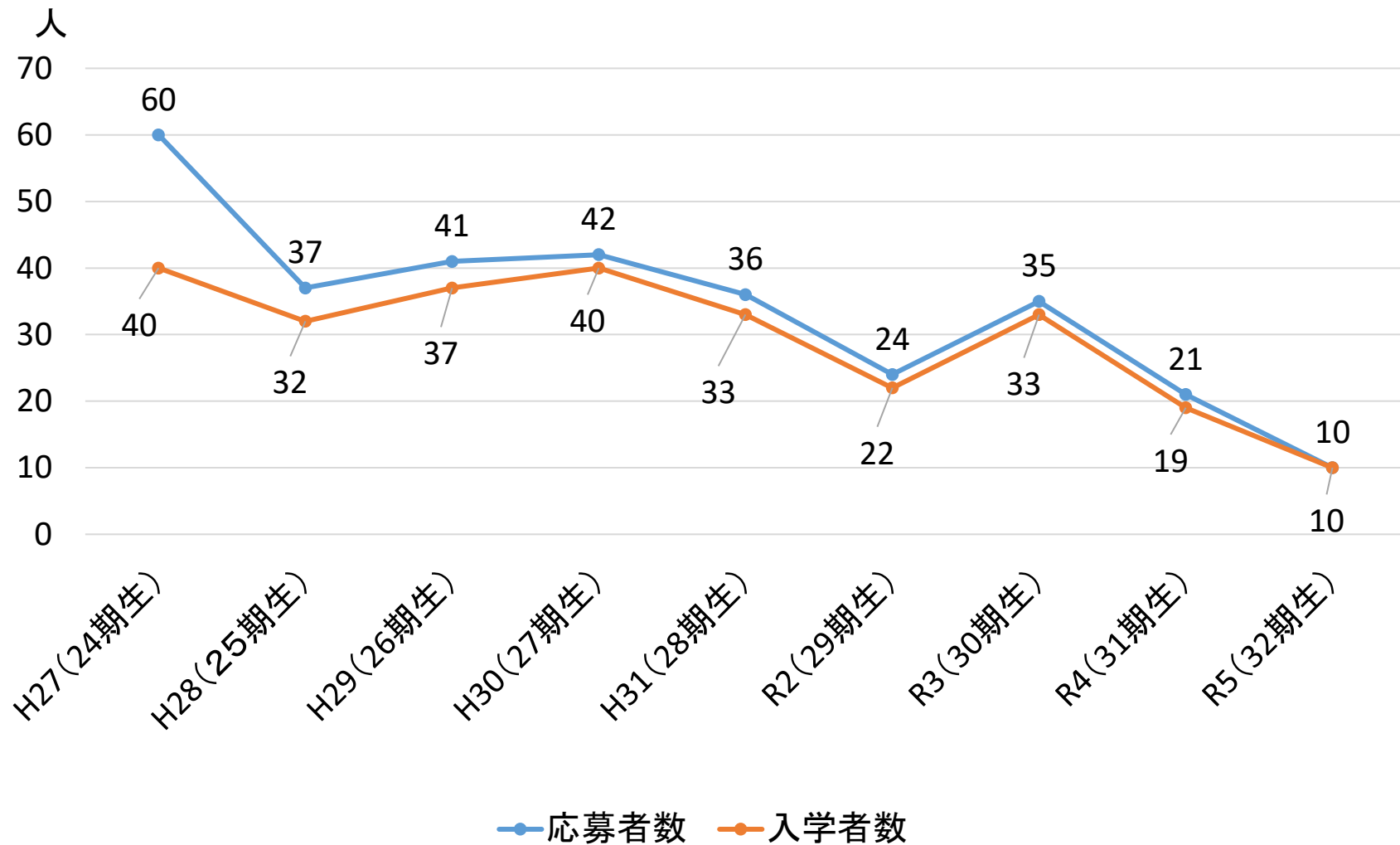


評価基準 :よく当てはまる:3 大体当てはまる:2 当てはまらない:1

## 【取り組みと課題】

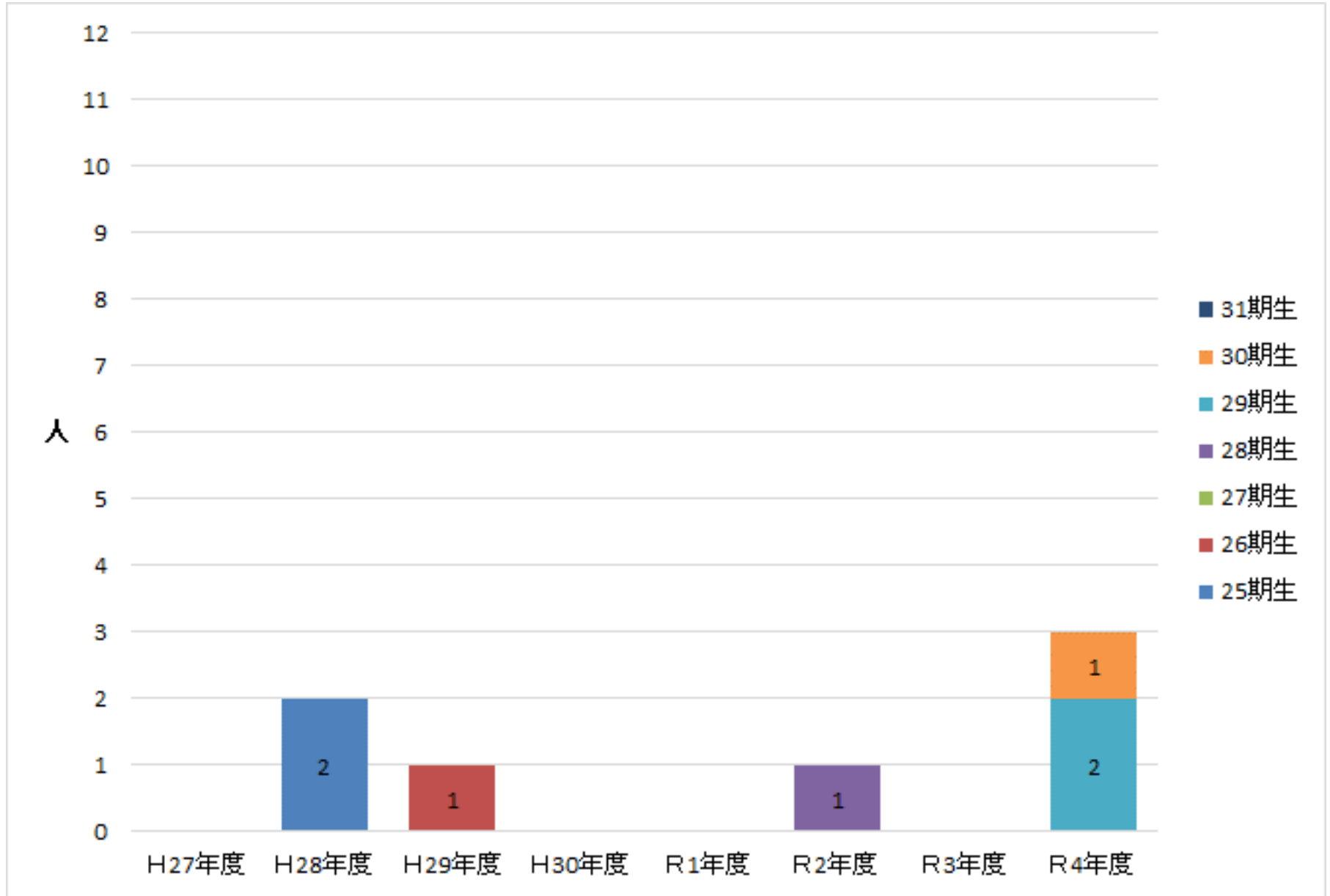
- ・入学者選抜は、入学試験合格基準と理事・教職員による面接結果をあわせた総合評価で行っている。
- ・入学者選抜についての妥当性の分析が行えていない。  
分析方法を検討し妥当性を検討する。
- ・卒業生の活動状況を把握は、母体病院や医師会内の医療機関の一部に限られているため拡大していく。

# 阿久根看護学校の応募者数と入学者の年次推移



# 年度別 休学者数

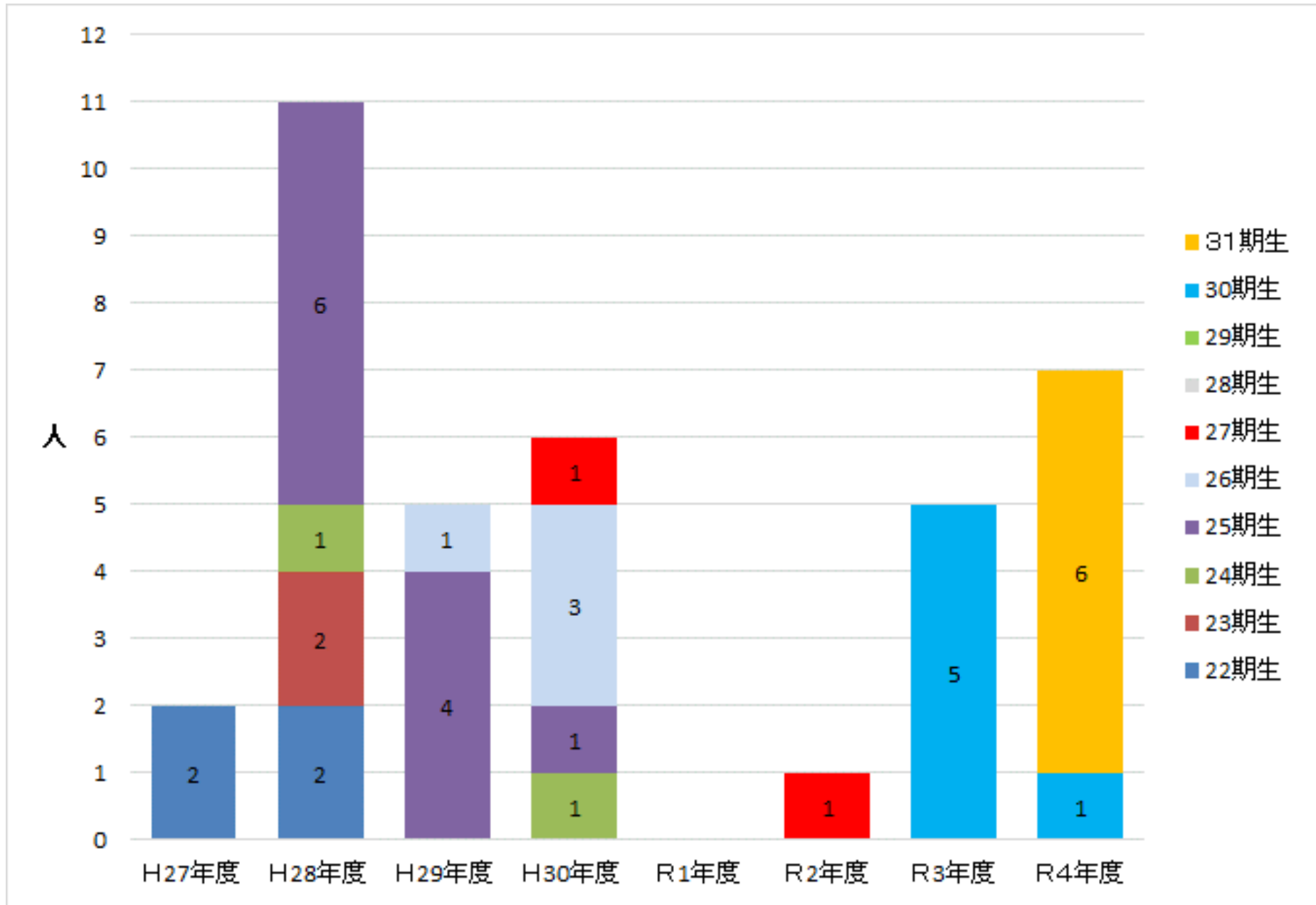
令和5年3月現在





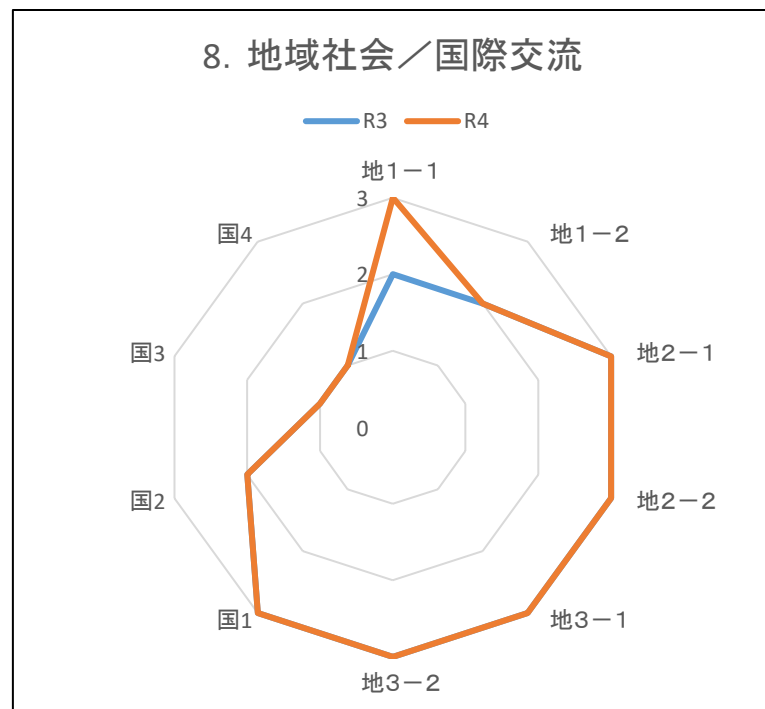
# 過去10年の年度別 退学者数

令和5年3月現在



## VIII. 地域社会／国際交流

VIII	地域社会／国際交流	R3	R4
地1-1	社会との連携に向けて、地域のニーズを把握している。	2	3
地1-2	看護教育活動を通して地域社会への貢献を組織的に行っている。	2	2
地2-1	養成所の教育活動について、地域社会のニーズを把握する手段をもっている。	3	3
地2-2	養成所から地域社会へ情報を発信する手段をもっている。	3	3
地3-1	養成所が設置されている地域の特徴を把握している。	3	3
地3-2	地域内における諸資源を養成所の学習・教育活動に取り入れている。	3	3
国1	国際的視野を広げるための授業科目を設定している。	3	3
国2	国際的視野を広げるための自己学習に適した環境を整えている。	2	2
国3	海外からの帰国学生や留学生の受け入れ体制を整えている。	1	1
国4	留学や海外において看護職に就くこと等を希望する学生に対応できる体制を整えている。	1	1



評価基準 :よく当てはまる:3 大体当てはまる:2 当てはまらない:1

### 【取り組みと課題】

- ・社会福祉協議会のご協力のもと、地域交流会やボランティア活動を実施。
- ・授業(国際看護、英語)を通して国際的視野を取り入れている。
- ・帰国子女や留学生の受け入れ体制はない。
- ・新カリキュラムでは地域・在宅看護論の授業で、地域のニーズや健康課題を知り看護の分野でアプローチをしていく方法を学ぶ予定。

## < 協議事項 >

1. 議長選出
2. 報告事項に対してのご意見
3. 総評



本日はお忙しい中、第三者評価委員会にご出席いただき、ありがとうございました。

第三者評価委員の方々の貴重なご意見をもとに、よりよい教育をめざして改善に取り組みます。

今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

広域医療センター附属阿久根看護学校

職員一同